



1月の産山村星空観察会

天空が広がるうぶやまの高原には冬が訪れ雪の舞う季節になりました。大変寒いのですが、空気が澄み切って、星空は一番きれいです。晴れば、肉眼の限界の6等星や、天の川まで見えるうぶやまの素晴らしい星空を楽しみませんか。

イベント情報

1. 日付 令和8年1月9日(金) / 1月23日(金)
2. 時間 日没後(18時00分頃)~22時00分
3. 場所 うぶやま天文台(ファームビレッジ産山内)
4. 持参物 星座早見盤(持っていない人は配布します)
★防寒着(天文台内部は機材管理の暖房はしません)
★産山村民の入館料は無料です。
5. お問い合わせ 産山村教育委員会(0967-25-2214)

指導致欄(天体観・見どころ)

1月の産山村星空観察会は1月9日(金)、1月23日(金)の2回実施されます。

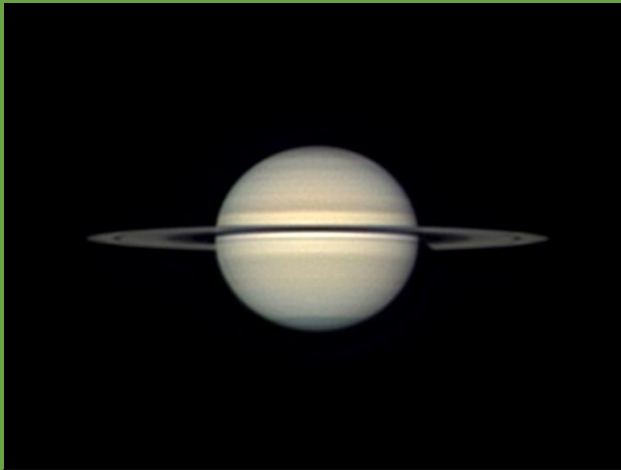
1月の日の入後、南西の空には土星が見えています。明るさは1.1等級で輝いています。2025年の土星は15年ぶりに環が消失する現象が起き、現在、環の傾きが非常に緩やかな珍しい姿を見ることができます。まだ見てない人はこの機会に是非見ておくとよいでしょう。(小型望遠鏡では一直線に見えます)月日の経過とともに、西に傾き土星のシーズンももう終わりです。

木星も東の空に姿を現すようになり、1月10日に衝となり、-2.6等級と大変明るく、観測の好機を迎えています。

その外に秋から初冬の星座が観察できます。頭上に位置するアンドロメダ座にある私たちの住む銀河系宇宙のお隣の宇宙、アンドロメダ銀河(M31)、秋の宝石とも呼ばれるペルセウス座の二重星団(hとx)、プレアデス星団(スバル)、星が編まれる現場、オリオン座のオリオン大星雲(M42)などを楽しみましょう。

また、天体の学習として、月や太陽、星の動きを確認するのに良い機会です。

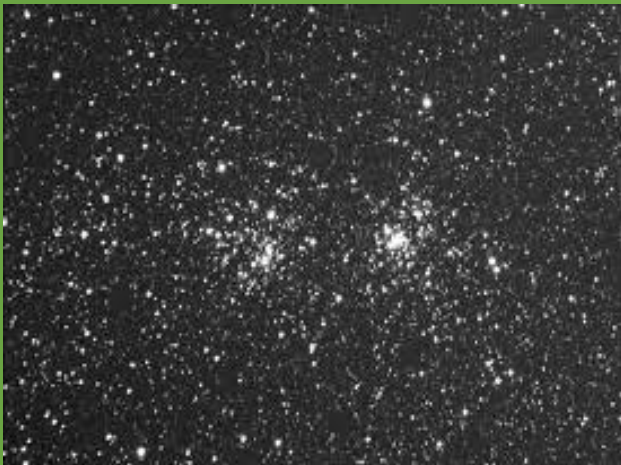
観察対象



環の傾きが緩やかになった土星



アンドロメダ銀河(M31)



ペルセウス座二重星団(hとx)



プレアデス星団(スバル)M45



オリオン大星雲(M42)



木星